



四国八栗五剣山
やくり
八栗ケーブル

線路延長 684m 高低差 167m
勾配 最急 約 17度(288.4%) 最緩 約 11度(181.0%)
運転速度 3.35m/s (12km/h)
最大乗車人員 127名

四国霊場第八十五番札所、商売繁盛・開運・厄除けに、霊験あらたかな八栗寺への御参拝は、八栗ケーブルをぜひご利用下さい。

春は桜、秋は紅葉が楽しみ、お正月は初詣で大変賑わいます。
～ レトロチックなケーブルカーで、4分間の小旅行 ～

運行時間

通常 7:30～17:15
毎月1日 5:00～17:15

- 毎時間 15分間隔
(0分 15分 30分 45分)運転
- 所要時間約 4分
- 山上駅より八栗寺境内まで徒歩 3～4分
- 団体、多客時は臨時運転
- 大晦日は終夜運転

運賃

登山口駅ー山上駅

	大人	小人
往復	1000円	500円
上り	600円	300円
下り	500円	250円

- 中学生以上大人料金
- 6才未満は大人1名につき無料

団体割引(大人往復例)

25人～	900円
100人～	800円
300人～	700円

(小人は上記の半額)

交通案内



- 高松市街より東へ車で約 15分
- 登山口駅前駐車場完備(大型可)



四国ケーブル株式会社

香川県高松市牟礼町牟礼 3378 番地の 3

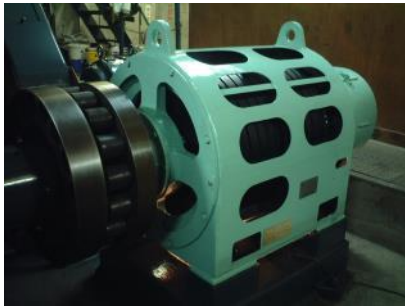
TEL 087-845-2218

ホームページ www.shikoku-cable.co.jp

Eメール info@shikoku-cable.co.jp

ケーブルカーのしくみ

1本の長いワイヤーロープ(734m)の両端に車両がぶらさがり、山上の電気モーターでつるべ式に車両を上り下りさせています。車両重量は10.2トンありますが、傾斜とつるべ式のためにそれほど大きな力はいりません。モーターは三相交流3.3kV、出力150kW(約204馬力)で、常用と予備の2台があります。



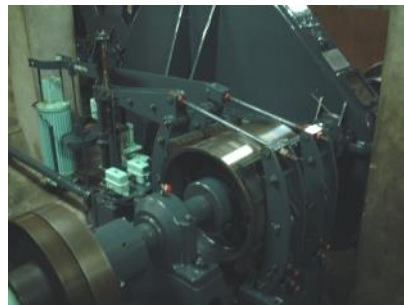
3.3kV 150kW 三相誘導電動機



主索輪、直径は3.4mあります。
ロープ太さは32mm



従索輪、直径3.4m
主索輪との間でロープを8の字に掛け
滑らないようにしています。



手用と自動2系統の制動装置
(ドラム式ブレーキ)



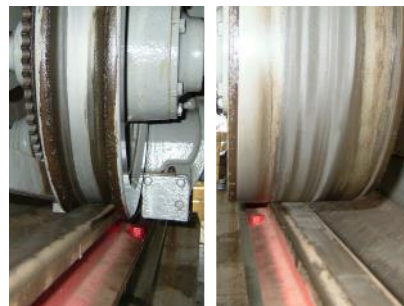
車両側の制動装置
万が一、ロープに異常が発生した場合
等に、レールを挟んで車両を止めます。



運転台は山上駅に。
左側のレバーがノッチ(速度制御)
右側のハンドルがブレーキ



離合所にポイント切り替えは
ありません。



溝車輪がレールに沿って走り、反対側は
平車輪で交差を踏み越えます。
1号車と2号車で逆になっています。

Q. ケーブル駅へのアクセスは？

- A.** ことでん志度線「八栗駅」より東側の道(旧庵治街道)を北へ、踏切を渡って最初の信号を右へ曲がり、そのまま道なりに進んでください。(『交通案内』地図参照)
 ことでん八栗駅より約 1.5km、徒歩 30 分程度です。駅前には八栗タクシーもあります。
 ことでん志度線は 20 分毎に 1 本あります。
 JR 高松駅方面からでしたら、ことでんには築港駅から乗車、瓦町駅で志度線に乗り換えとなります。
 バス停は八栗駅の近くにありますが、ケーブル駅への路線バスはありません。

Q. ケーブルの営業日・時間などは？

- A.** 年中無休です。ダイヤについては『運行時間』をご覧ください。
 また、毎年大晦日から元旦にかけては終夜運転、元旦から 5 日間は特別ダイヤにて運転しております。

Q. ケーブルカーはいつから？

- A.** 初代のケーブルカーは昭和 5 年ごろにありました。当時の車両は箱形でした。
 しかし太平洋戦争時に供出のため、八栗寺の梵鐘とともに全て撤去されました。
 現在の流線型のケーブルカーは、(株)日立製作所笠戸工場(初代新幹線と同じ製造工場)で製造され、昭和 39 年 12 月に開通したものです。
 同じ型の流線型のケーブルカーは六甲にもありましたが、平成 11 年にリニューアルされたため、現在は八栗だけとなりました。

Q. 見どころ、おすすめなど。

- A.** 八栗ケーブルは元来、五剣山(標高 366m)中腹にあります四国霊場第八十五番札所である八栗寺への参拝客輸送を目的に作られました。
 神仏混淆である八栗寺は、四国八十八ヶ寺である以外に、お聖天様と呼ばれ親しまれている**歓喜天**という神がまつられており、開運厄よけ、商売繁盛の寺としても崇められています。初詣の寺としても有名です。
 八栗寺はケーブル山上駅より徒歩約 4 分です。
 また山上や車窓からは、**屋島**を一望できます。
 登山口駅近くには、**石の民俗資料館**(八栗ケーブルの在る牟礼町、庵治町は**庵治石**で全国的にも有名)、表参道途中には、**山田家**という老舗のうどん店もあります。
 ぜひお越しください。



五剣山の中腹に静かにたたずむ八栗寺は、弘法大師の開基により天長6年(829年)に創建、四国霊場85番札所として知られます。

「やくりさん」と親しまれ、初詣をはじめ毎月1日には「この月も無事に過ごせますように」と願いを込めて、早朝から人々が手を合わせる風景が昔から続いています。

本堂横の聖天堂の**歓喜天**(高さ15センチの黄金像)は、商売繁盛のご利益があるとして、県内外から多くの参拝客が訪れます。

歓喜天は人を**飲ばせず**、自分も喜ぶという天尊。延宝5年(1677年)9月16日にまつられたことから、1月と5月の16日、旧暦の9月16日の大縁日には、信徒の祈願成就のため、12人の僧侶が大般若転読の法会を行います。

訪れる人に気持ちよく拜んでもらうために、境内はいつもきれいにするよう心がけ、歓迎の気持ちを含めて、春秋のお遍路さんの多い季節にはお供え物で接待しています。

寺から見上げる山頂には、緑と山肌がどっしりと構えており、険しくもすがすがしい姿は、神々しくさえあります。